

総選挙

躍進! 日本共産党

8 → 21
議席に

子育て応援。「ブラック企業」を許さない

党飯田市区県政対策委員長

水野 ちかあき

「子どもの医療費窓口無料化を早く」「リニア駅の大規模開発はやめて」——住民の声に寄り添い、暮らしを守る県政の役割が今、まさに大切になっています。

私自身、昨年の総選挙で安倍政権と対決したからこそ、暮らし応援のあたたかい県政を実現しなければ、平和とくらしは守れないと実感しています。

若さと行動力で県政に新風をおこす決意です。引き続きあたたかいご支援よろしくお願いします。



- 1980年(昭和55年)生まれ。現在35歳。信州大学理学部を卒業。03年に新卒で入社した都内の民間企業がいわゆる「ブラック企業」で、現在の活動の原点に。
- 現在、日本共産党飯伊地区副委員長。上郷飯沼在住。
- 趣味は料理、サイクリング、合気道。

4月は
県議選

安倍暴走ストップ
平和とくらしを守る県政を!!

水野さんの若さと行動力に期待

新日本婦人の会 飯田支部支部委員 横前 江美

子ども・障がい者の医療費窓口無料化は全国では当たり前です。

私たち子育て世代が安心してずっと地域に住み続けられるために、私たちの意見を直接聞いて理解してくれる水野ちかあきさんの若さと行動力に期待します。

医療と介護を切り捨てる政治と決別を

日本共産党飯伊後援会長 熊谷 嘉隆

医療と介護を切り捨てる政治と決別する時です。抜群の行動力、若くて誠実で実直な人柄、平和憲法を何よりも大切にし、社会変革への情熱を持つ水野ちかあきさんを推薦します。

大きくなった国会議員団と力合わせて
願い実現へさらに全力

願い実現の力が何倍も大きく

日本共産党は衆院21議席で、単独で議案を提案する権利を獲得。17の常任委員会すべてに委員を送りました(11常任委員会は複数)。また、党首討論に志位委員長が立ち、本会議や委員会の質問時間も大幅に増え、みなさんの声を届ける力が何倍も大きくなりました。



初登院する大きくなった日本共産党衆議院議員団(2014年12月24日)

政党助成金廃止法案
を提出します!!

躍進した党国会議員団の一員として、安倍内閣の暴走に対決・対案・共同の立場で、党県議団と力をあわせて、国政と地方政治を結んでいきます。そのためにも、国政に続き、長野県でも日本共産党を大きくするために力をおかしてください。

衆議院議員 藤野 保史

県民の願いを実現する力をもっと大きく、史上最高の8議席以上、2ケタ県議団をめざします。



長野市区(10)

山口のりひさ(新)



長野市区(10)

和田あき子(現)



松本市区(6)

両角 友成(現)



上田市・小県郡区(4)

高村 京子(現)



佐久市・北佐久郡区(4)

ふじおか義英(現)



岡谷市・下諏訪町区(2)

もうり栄子(前)



塩尻市区(2)

びぜん光正(前)



上伊那郡区(2)

小林 伸陽(現)



飯田市区(3)

水野ちかあき(新)



須坂市・上高井郡区(2)

土谷ふみえ(新)